

西成特区構想の進捗について

西成区には、あいりん地域を中心に様々な課題が存在する。それらの課題を人と予算を集中的に投入し、特区的に運用することで解決につなげ、子育て層を中心に人を呼び込み活気あふれるまちをめざす。

1. プロジェクトチーム発足後の経過について

平成 24 年 2 月 15 日、西成区長をリーダーとし、関係局長をメンバーとする西成特区構想プロジェクトチーム（以下、PT）を設置し、第 1 回の会議を開催した。会議では、各局から課題解決に向けたアイデア例が出された。

3 月下旬以降、PT から出されたアイデア例について、具体的な検討をするため、各局課長級による幹事会を設置し、「子育て支援」「観光振興」「地域環境改善」の 3 つの作業部会に分かれて意見交換会を重ねている。当面、短期的に実現可能な項目については今回の補正予算で計上した（集客プラン支援事業、西成区イメージアップ事業、ウォーキングタウン西成）。

一方、アイデア例のうち既に各局で対応が進んでいる項目については、PT 事務局で進捗状況を把握しながら、逐次、特区構想関連事業として取りまとめることとしている（あいりん地域における不法投棄対策（監視カメラ設置など）、生活保護医療費適正化、結核対策の拡充、あいりん総合センターのあり方検討、小中一貫校の整備など）。

また、特に「あいりん総合センターのあり方」については、別途分科会を設け、関係局で大阪市の方針について検討している。市としての成案ができ次第、府・国との協議に入っていくこととしている。

2. 鈴木亘特別顧問について

4 月に就任した鈴木特別顧問においては、これまで、「あいりん総合センターのあり方」「結核対策」「子育て支援策」等、精力的に各局事業の現状についてのヒヤリングを行っていただき、今後、顧問の幅広い人脈を生かした各専門分野の有識者を集め、座談会形式でテーマごとに議論を重ねていただく予定としている。議論は 6 月の初旬から始め、秋ごろを目途に西成特区構想の大きな方向性についてのとりまとめをしていただく予定となっている。

3. 今後の進め方について

当面、補正予算案確定後、第 2 回の PT 会議を開催し、24 年度補正予算で取り組む事業についてのとりまとめと、鈴木特別顧問を中心とした有識者による方向性の議論がすすめられることの確認を行うこととする。

秋ごろ以降、鈴木特別顧問による方向性のとりまとめがされた際には、それに基づく施策の具体化について議論するための PT 会議を開催することとしたい。

一方で、治安・薬物対策などについての警察との連携、雇用・労働問題（あいりん総合センターのあり方）についての国・府との連携についても、連携方法を引き続き検討したい。

平成 24 年度補正予算 西成特区構想関連事業 項目一覧

- 《健康》あいりん地域を中心とした結核対策の拡充 107,780 千円
- 《病院》十三市民病院結核病棟改修工事 83,000 千円
(別途債務負担行為：限度額 101,000 千円)
- 《教育》新設校整備事業（今宮中学校区施設一体型小中一貫校の整備） 23,249 千円
- 《ゆとり》大阪集客プラン支援事業 12,000 千円
(西成区に関連する事業以外への支援も含む)
- 《西成》西成区イメージアップ推進事業 3,949 千円
- 《西成》ウォーキングタウン西成 1,673 千円

【別途】

○平成 24 年度当初予算で計上済み事業

- 《西成》西成特区構想基礎調査 3,000 千円
・西成特区構想の大きな方向性を考える有識者座談会（座長：鈴木亘特別顧問）を開催など
- 《こども》塾代助成事業の試行実施 87,876 千円

○予算措置を伴わずに実施する事業

- ・西成区における重点的医療扶助適正化対策（8 月から実施）
 - 《福祉》生活保護医療機関指定制度
 - 《西成》医療機関等登録制度

○24 年度の調査や他の取り組みの状況を踏まえて今後検討する項目

- ・市税等の優遇、大学等の誘致、未利用地の活用
- ・空き家対策（別途、区長会議課題別検討部会で検討中）

平成 24 年度西成特区構想 スケジュール

